

2016年度 第1回

日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会 議事録

日時：2016年6月13日（月）18:30-20:00

場所：明治学院大学白金キャンパス社会学部附属研究所 会議室

出席者（敬称略）：■出席、□欠席

■久保美紀 □大島巖 ■高山直樹 □荒井浩道 ■岡田哲郎 ■小野孝嘉
■金子絵里乃 □北本佳子 ■金成垣 □小林理 □佐藤信人 □眞保智子 ■田嶋英行
■月田みづえ ■豊田宗裕 □贅川信幸 □林浩康 □菱沼幹男 □保正友子 ■丸山晃
■室田信一 ■山口麻衣 □山下興一郎 □山田知子 □六波羅詩朗 □渡邊浩文
■由良亮人（事務局） ■耕田昭子（事務局）

〔報告〕

1. 2015年度関東部会研究大会【丸山氏報告】

○2015年度研究大会を2016年3月13日に開催（於：東洋大学白山キャンパス）

- ・大会テーマ「ソーシャルアクションと社会的企業～社会福祉学のイノベーションにむけて～」

参加者：134名

大会プログラム・報告者：

- ・自由研究報告：3会場11名（例年は、25名程度の参加）
- ・記念講演：記念講演（学会賞奨励賞受賞者：単著書部門と論文部門の2名）
- ・シンポジウム：ソーシャルワーク専門職のグローバル定義からナショナルレベルへの展開
- ・基調報告：「連帯経済」を紡ぎだす社会的企業～中間支援組織の意味に着目して～
- ・総会・関東部会研究大会奨励賞授与式
- ・研究奨励賞の授与（1名）
- ・2014・2015年度は、ソーシャルアクションをテーマに、現場、研究者と協働で大会を開催してきた
- ・大会参加費は無料、懇親会は有料であった。
- ・要旨集はWEBで見ることができる。

2. 各部会活動報告（ホームページ、メールマガジン、ニューズレター）

（ホームページ）【高山氏報告】

- ・ホームページの更新を行い、メールマガジンで流す
研究大会、ニューズレター、運営委員会、新着のお知らせなど。その他、関東地区で開催の公開講座・講演会、博士論文公開審査

（編集）【高山氏 由良氏】

- ・ ホームページで機関誌『社会福祉学評論』の一般公開
- ・ 大学院生の投稿が多く、教育的かわりする場合もあり査読が大変になる。

3. その他【高山氏・由良氏報告】

- 2015年度事業報告（2015年4月～2016年3月）
 - ・ 2016年度事業計画（2016年4月～2017年3月）→理事会へ提出し承認を受ける
 - ・ 2015年度関東地域部会会計決算
 - ※事業推進経費－会員数によって、年間160万円本部より分配される
 - 繰越金200万円程度（本部より有効に使用するするように指示）
 - 2016年度は、査読体制の外部委託を検討したい

〔議題〕

1. 2016年度の運営委員、監事、経理担当者、その他の役割分担【高山氏報告】

- 別紙運営委員会名簿を参照し、役割分担等を確認する。ただし明学が大会校になるため明学の教員は、大会担当となる。
 - ・ 原則、前年度と同じ担当とし、新任者は前任者の担当を踏襲する。
理事）久保美紀、監事）大島巖、経理）高山直樹、事務局）明治学院大学（耕田昭子
新任）金成垣（大会）← 榊原美樹（編集）、豊田宗裕（大会）← 高橋克典（大会）
林浩康（大会）← 岩永理恵（大会）、保正友子（大会）← 原田欣宏（大会）
（敬称略）
※本年度より日本大学から運営委員を出していただけることになった。

2. 各部会の事業計画【各担当報告】

- 各委員会は2016年度事業計画に基づき、実施することを確認する。
 - 1) 広報委員会（ホームページ、メールマガジン、ニューズレター等）
 - ・ 特になし
 - 2) 編集委員会【高山氏】
 - 編集委員より現状報告
 - ・ 投稿論文数の増加にともない、編集委員及び事務局の負担が増大している
 - ・ 担当事務局の力量に関係なく運営できる体制づくり
 - ・ 査読者の選定方法の見直し（査読適任者の確保困難）
編集担当委員による査読者を選定及び依頼確保、人脈による限界
編集委員の専門領域以外を担当することに限界、マッチングの問題
組織としての対応の必要性
 - ・ 査読者の選定基準の設置

- 事務局より、編集事務業務の外部委託が提案される
- ・国際文献社の見積もりが久保理事より提出される
- ・今後継続的に予算を捻出していくことができるのかとの意見がだされる
- ・関東部会の『社会福祉学評論』のあり方について、編集委員会で次回の委員会までに議論していただく。
 - 国際文献社への編集事務の業務委託については承認され、2016年度受付分より開始することになった。

3. 2016年度関東部会研究大会

- ・次回委員会までに、大会担当の方々に大会（案）を提示していただく。
場所：明治学院大学 開催日： 大会テーマ

4. その他

- ・三委員会のあり方について、理事（久保氏）、経理（高山氏）
- ・各委員会の中で、リーダーを定め進めていくのがよいのではないかとの意見が出される。

5. 今後の委員会予定

- 例年の開催状況について報告され、この日程を参考に日程調整し、開催することになった。
- 運営委員会
 - 第2回運営委員会（例年8月）
 - 第3回運営委員会（例年11月）
 - 第4回運営委員会（研究大会当日）
- 大会担当委員会
 - 第1回大会担当委員会（例年10月）
 - 第2回大会担当委員会（例年2月）

6. 次回運営委員会

- 第2回運営委員会
 - 2016年8月に開催予定、時間：未定、場所：明治学院大学
 - 後日、スケジュール調整サービス『伝助』にて日程調整を行う
- 第1回大会担当委員会
 - 運営委員会終了後、大会担当委員により下記日程を決定
 - 2016年7月14日（木）18：30 明治学院大学
 - 伝助にて出欠確認をする

記録：事務局